

地区協議会

2011～12年 熊澤年度

熊沢年度地区協議会



ご苦労様です

地区内73クラブの指導者の皆さん！
ご歓迎申し上げます

地区協はクラブの指導者の方々のセミナー
主役は会長・幹事さんとクラブの委員長さん

地区ガバナー補佐、地区委員長さんは
効果的なクラブを作るためのお手伝い

災害を被られた被災地の
皆様に心からのお見舞いを
申し上げます

未曾有の国難に見舞われた今、
我々ロータリアンは何をなすべきか

非常時下のロータリー活動

- 100有余年の歴史の中でロータリーの存亡の危機はいくつもあった
- 第一次世界大戦、1930年の大恐慌、第2次世界大戦、日本はRIを脱退
- 官憲の弾圧厳しい中を札幌、小樽、函館ロータリークラブは、隠れキリシタンのように例会を続けた
- 何が彼らをそうさせたのか。

この天災・人災で多くの ロータリーアンは家やクラブを失う

我々は今日ここに無事、地区協議会
を開催している

我々はクラブを失った仲間の分まで
ロータリー活動に真摯に謙虚に取り
組まなければならない

弱者に涙する心

- 我々は困難に直面した人のことを知ったとき、心の動くのを感じる
その心のさざ波が奉仕の出発点
- しかし次の瞬間、次の日、次の週には自分自身の問題でそのことを忘れてしまう

継続的な災害復興支援を

国家有事中のロータリー活動

ロータリアンは常にその国の忠実な
愛国者であることが何よりの義務である
(セントルイス国際大会決議43-14)

- 有事とは国家にとって非常事態まさに
東北関東大震災は有事そのもの
- これから先、毎例会時に、たとえわずかの
金額でも自国の被災地を最優先に考え、長期
にわたる支援活動を続けよう

本日の研修の主題

RI理事会は地区協で取り上げる主題
として以下を推奨しています

- RI 年次テーマ
- 地区 目標
- クラブ会長の役割と責務
- クラブと地区指導者との協力
- クラブの管理運営

ガバナーの仕事はRIの

テーマ・重点方針を

自分の言葉に噛み砕いて

皆さんに話すこと

皆さんはそれを次年度の

活動計画に反映させること

Reach within to Embrace Humanity

「こころの中を見つめよう
博愛を広げるために」

カルヤン・パネルジー

RI会長のテーマ 2011-12

テーマに込められた仏教の心

- 2400年前にインドで生まれた大般若経
自分の中にわけ入って「真実の人間性」を
開発するのが「ほとけ」の心
- 人間の深い意識の層の中に「無意識層」が
あり「仏性」といえる
- 人の痛みと自分の痛みを知り、心の田を
耕す⇒「仏性」を磨く

暗い夜道の街灯の下で

**亡くした大事なものを
探している**

亡くしたものは何か

見える世界と見えない世界

現代は全てがカネに還元される社会
カネへ換算できない、慈しみ、思いやり
愛情、友情が分からなくなってしまう
「見える世界」と「見えない世界」の
回路をつなぎ直さなければならない

ロータリー本来の目的が薄れ RIの目的は組織拡大

- 組織を作った人の目的と作られた組織が持つ目的とは必ずしも同じではない
- ロータリーは心を求めるために生まれた
- 組織自体の目的の為に、組織を作った人の目的が否定されることにもなりかねない
- 組織は組織を防衛するのであって、組織を作ってきた哲学を防衛するのではない

ロータリーは共同体

- ロータリーは 社交クラブという共同体
- 自然発生的なつながりで生まれ、会員の満足と自己改善を目的とした組織
- 組織の目的よりも、会員それぞれがロータリーの目的を果たすことが重要

真の目的は人格の形成と実力の涵養
(第4回インスピレーション大会)

国際ロータリーのクラブ管理 の基本方針

- 第一に重要なことは、個人ロータリアンによる『ロータリーの綱領の推進』である
- シェアローリーの意味
- 国際ロータリーの管理の根本原則は
加盟ロータリークラブの『実質的な自治』
にある

昨今のロータリー運動の変遷

奉仕理念の研鑽より
ボランティア団体へ移行

ロータリーを作った人の目的と
ロータリー組織の目的は違う

クラブはRIを思いRIはクラブを思う

all is oneness /万有一如

- すべてのものには「部分性」と「全体性」が存在する」ということの認識
- 全体は個を思い個は全体を思う
- クラブはRIを思いRIはクラブを思う
- 互いの立場を尊重しあう
- すべては「一蓮托生」であるという深い自覚が人間には求められている

クラブライフ

- ロータリーは様々な矛盾を解決していかねばならない
- 「自分の利益と他人の利益」という矛盾した二つの調和を図る人生哲学
- 忙しい職業生活の傍ら例会出席も厳しい
- 常にロータリーは二つの反するベクトルを持つこれをみんなで解決してゆくのがクラブライフ。ロータリーとは私たちが心を合わせて心を耕すこの上ない場所です

ロータリーの魅力の確認

- ロータリーの優れた人生哲学とは何か
- 利己と利他との調和
- エゴの克服
- 自分達の市や町に親身になる⇒社会奉仕
- 世界の人たちと親身になる⇒国際奉仕
- 世界中に良き友ができる
- より優れた職業人になれる

ノーブレス・オブリージュ

- 人の上に立つ者の《高貴の義務》
- 『武士道』という本は約100年前にアメリカで新渡戸稲造によって出版された
- 『武士道』は選ばれた人に伴う義務
- ロータリアンは選ばれた人→《倫理観》に裏打ちされた義務を負う

我々はエリートたる矜持を持つ

クラブの皆さんで “RIテーマ”
について是非話し合ってください

「心の中を見つめる」とは？

「博愛」とはなにか

Strategic Plan

長期計画

長期計画の中核となる価値観

1. 奉仕⇒世界理解と平和をもたらす。奉仕を
す
るものに喜びを与える奉仕文化の創
造
2. 親睦⇒個人による個々の奉仕活動より協力
して人類に奉仕。親睦は寛容
3. 多様性⇒繁栄するクラブは職業分類を実践
4. 高潔性⇒職場、地域社会で倫理の高揚
5. リーダーシップ⇒指導力を進展させる

これらの価値観は「ロータリーの綱領」
「4つのテスト」に反映されている

中核となる価値観と職業奉仕

ビチャイ・ラタクル元RI会長

- 100年間ロータリーを支えてきた中核的価値観
- 奉仕 親睦 多様性 高潔性 リーダーシップ
- 卓越した人道的・教育的プログラムで多大な成果を収めてきたが、大事なのを見失った
- 私たちが今、見失ったロータリーの独自性とは、もちろん職業奉仕
- 最初の難関はロータリアンに職業奉仕の本当の意味を理解してもらう事⇒2つの標語

基本に立ち返る：優先項目と目標

優先項目

1. クラブのサポート強化
2. 人道的奉仕の重点化と増加
3. 公共イメージと認知度の向上

中核となる価値観

奉仕 親睦 多様性 高潔性 リーダーシップ

ロータリー家族を広げる



新世代の
友人



新世代
の会員



ロータリー
の協力者



ロータリー
の協力者
の友人



ロータリア
ンの友人
の友人



ロータリアン
の友人



学友



学友の
友人

長期計画の具体例

- 地域社会の人口を反映した、多様性のある会員組織を推進する
- 具体的な目標
 1. 2013年までに75%:25%
(男:女)の割合にする
 2. 2013年までに
クラブの平均年齢を5歳下げる
 3. 会員組織に地域の人口を反映させる

ご協力をお願いします

卓越した組織を目指す

- I. 刷新する
- II. 開かれた心を持つ
- III. 変化を導く
- IV. 根拠を持つ
- V. 全員で協力する

ご静聴ありがとうございました

